

2026年6月期 決算説明資料

2026年8月7日

笹徳印刷株式会社

(証券コード：3958)



笹徳印刷株式会社
SASATOKU PRINTING CO.,LTD.

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 決算概要
- IV. 2027年6月期 業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

会社概要

SASATOKU

- 商 号 : 笹徳印刷株式会社
- 創 業 : 明治23年8月
- 設 立 : 昭和25年7月
- 代 表 者 : 代表取締役社長 杉山 昌樹
- 資 本 金 : 3億925万円
- 証 券 コード : 3958
- 上場取引所 : 東証スタンダード市場、名証メイン市場
- 売 上 高 : 122億円 (連結)
111億円 (単体)
※2026年6月期
- 従 業 員 数 : 389名 (連結)
297名 (単体)
- 決 算 月 : 6月末



笹徳印刷本社

- 連結子会社 : 3社
株式会社サンライト
世徳印刷科技（無錫）有限公司
PT.SASATOKU INDONESIA

会社概要

国内拠点・海外拠点・関連会社

SASATOKU

国内拠点



① 本社 愛知県豊明市



② 東日本支社
東京都新宿区



③ 西日本支社
大阪府淀川区

海外拠点 (連結子会社)



⑧ 世徳印刷科技（無錫）有限公司
江蘇省無錫市



⑨ PT.SASATOKU
INDONESIA
Jakarta



国内工場

④ 本社
パッケージ工場
愛知県豊明市



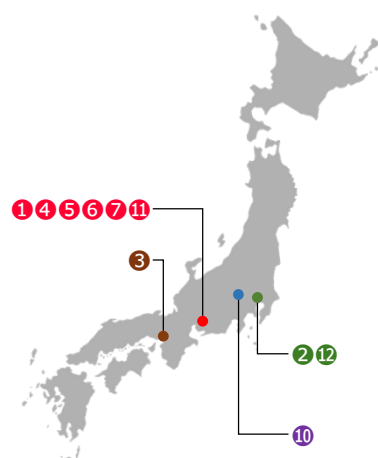
⑤ 本社商印工場
愛知県豊明市



⑥ 紙器グラビア工場
愛知県豊明市

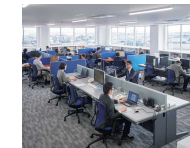


⑦ 軟包装グラビア工場
愛知県一宮市



⑩ 関東工場
埼玉県本庄市

連結子会社



〈企画・デザイン〉
株式会社サンライト
⑪ 本社 愛知県豊明市
⑫ 東京 東京都新宿区

I. 会社概要

II. 事業内容

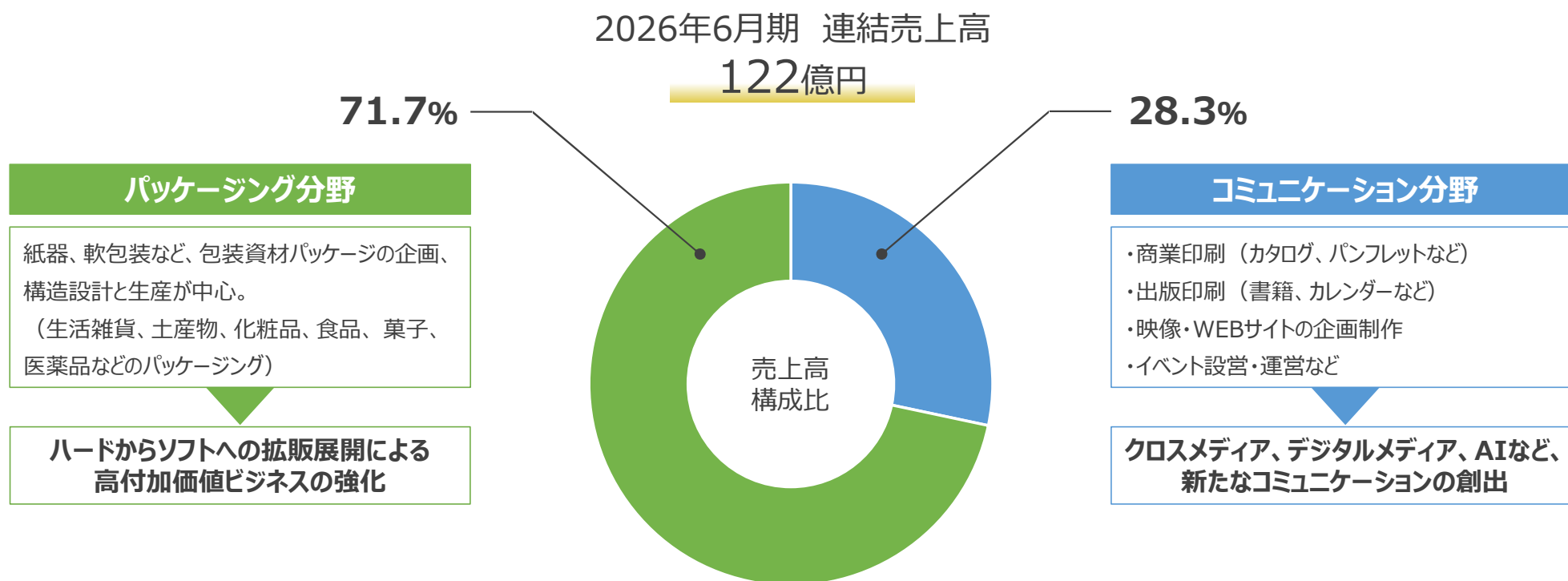
III. 2026年6月期 決算概要

IV. 2027年6月期 業績見通し

V. 株主還元

VI. 参考資料

「パッケージング」と「コミュニケーション」2つの分野の相互展開



2つの分野を融合し、新たなソリューションビジネスを展開

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 決算概要
- IV. 2027年6月期 業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

2026年6月期 決算概要 連結業績ハイライト

SASATOKU

(百万円)

	2025年6月期 実績 (対売上比)	2026年6月期 実績 (対売上比)	前期比	2026年6月期 業績予想 (対売上比)	達成率
売上高	12,555	12,223	△ 2.6%	13,000	94.0%
営業利益	185 (1.5%)	63 (0.5%)	△ 65.9%	200 (1.5%)	31.6%
経常利益	420 (3.3%)	274 (2.2%)	△ 34.7%	370 (2.8%)	74.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	246 (2.0%)	194 (1.6%)	△ 20.9%	260 (2.0%)	74.8%

<分野別売上高>

(百万円)

パッケージング分野	8,896 (70.9%)	8,760 (71.7%)
コミュニケーション分野	3,658 (29.1%)	3,463 (28.3%)
合 計	12,555(100.0%)	12,223(100.0%)

() は構成比

- ・売上高・・・パッケージング分野は菓子・食品向けは増加したものの、家庭用品向けは低調に推移。コミュニケーション分野は情報媒体のデジタル化が進むなか、プリントメディアの数量の減少と価格競争の激化もあり減収となりました。
- ・営業利益・・・人件費の上昇、原材料費、動力費、外注費、物流費の高騰など、複数のコスト増加要因に対し、売価への転嫁、生産性の向上、原価低減を継続して実施しましたが収益性は大きく低下しました。
- ・経常利益・・・受取利息・受取配当金（148百万円）等により営業外収益は増加しましたが、営業利益の落ち込みをカバーするには至らず減益となりました。

2026年6月期 決算概要 連結貸借対照表

SASATOKU

(百万円)

	2025年6月期	2026年6月期	増減額	主な増減理由
流動資産	5,122	5,420	297	
固定資産	8,886	10,065	1,179	有形固定資産の増加530百万円、 投資有価証券の評価による増加646百万円
資産合計	14,008	15,486	1,477	
流動負債	3,632	3,871	238	
固定負債	1,228	1,979	750	長期借入金の増加612百万円
負債合計	4,860	5,850	989	
純資産	9,148	9,635	487	その他有価証券評価差額金の増加374百万円
負債・純資産合計	14,008	15,486	1,477	
自己資本比率	65.3%	62.2%		
1株当たり純資産	1,629円84銭	1,771円32銭		

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 決算概要
- IV. 2027年6月期 業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

2027年6月期 連結業績見通し

SASATOKU

(百万円)

	2026年6月期 実績 (対売上比)	2027年6月期 業績予想 (対売上比)	増減率
売上高	12,223	13,000	106.4%
営業利益	63 (0.5%)	80 (0.6%)	126.4%
経常利益	274 (2.2%)	420 (3.2%)	152.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	194 (1.6%)	280 (2.2%)	143.9%

<売上高>

成長が見込まれるパッケージング分野の需要を確実に取り込むため、引き続き営業力の強化に努めるとともに、生産体制の拡充と最適化を図ることにより増収を見込んでおります。

<営業利益>

関東工場への生産設備増強に伴う減価償却費の増加、人件費の上昇、原材料費、動力費、外注費、物流費などの高騰に対し、売価への転嫁や生産性の向上を図り収益の確保に努めます。

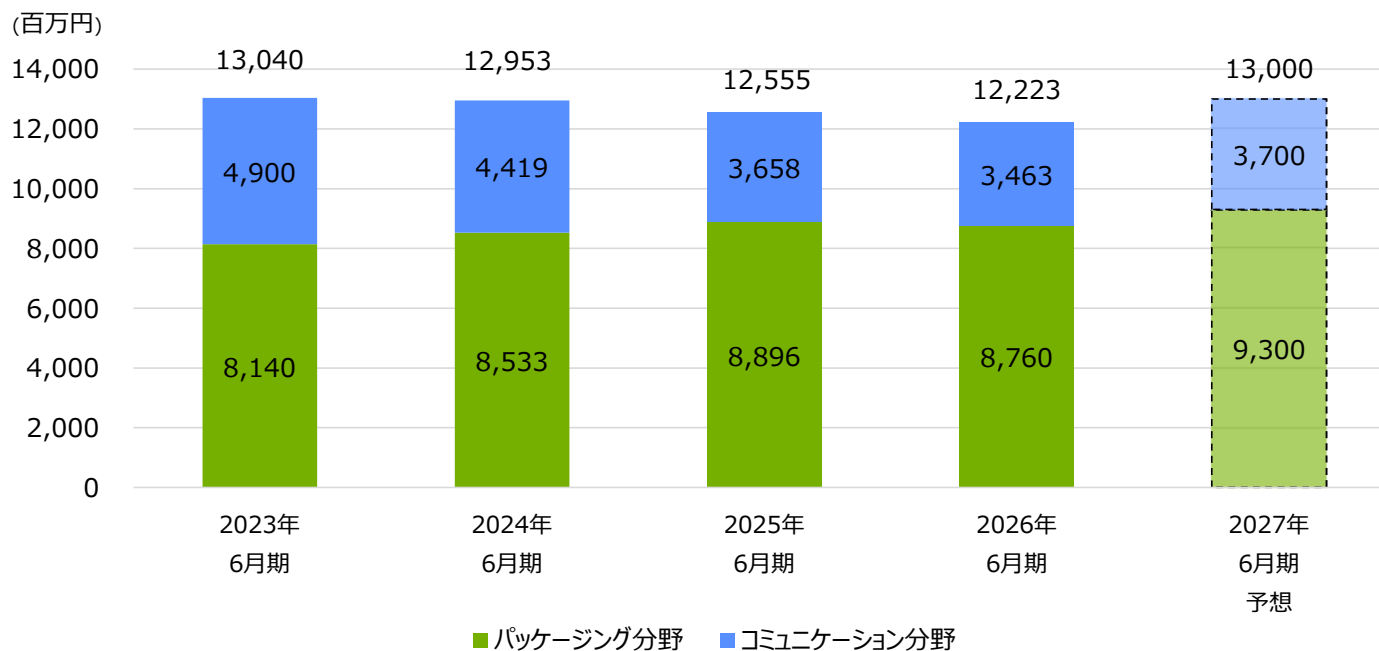
<経常利益>

受取利息、受取配当金、匿名投資組合利益の増加が見込まれるため、経常利益は増益を見込んでおります。

2027年6月期 業績見通し 売上高

SASATOKU

連結売上高（分野別）



<パッケージング分野>

関東工場に増設した紙器製造ラインの本格稼働を進めるとともに、東日本・西日本へ営業エリアを更に拡大し、成長が見込まれる菓子・食品・生活日用品分野でのシェア拡大に注力いたします。

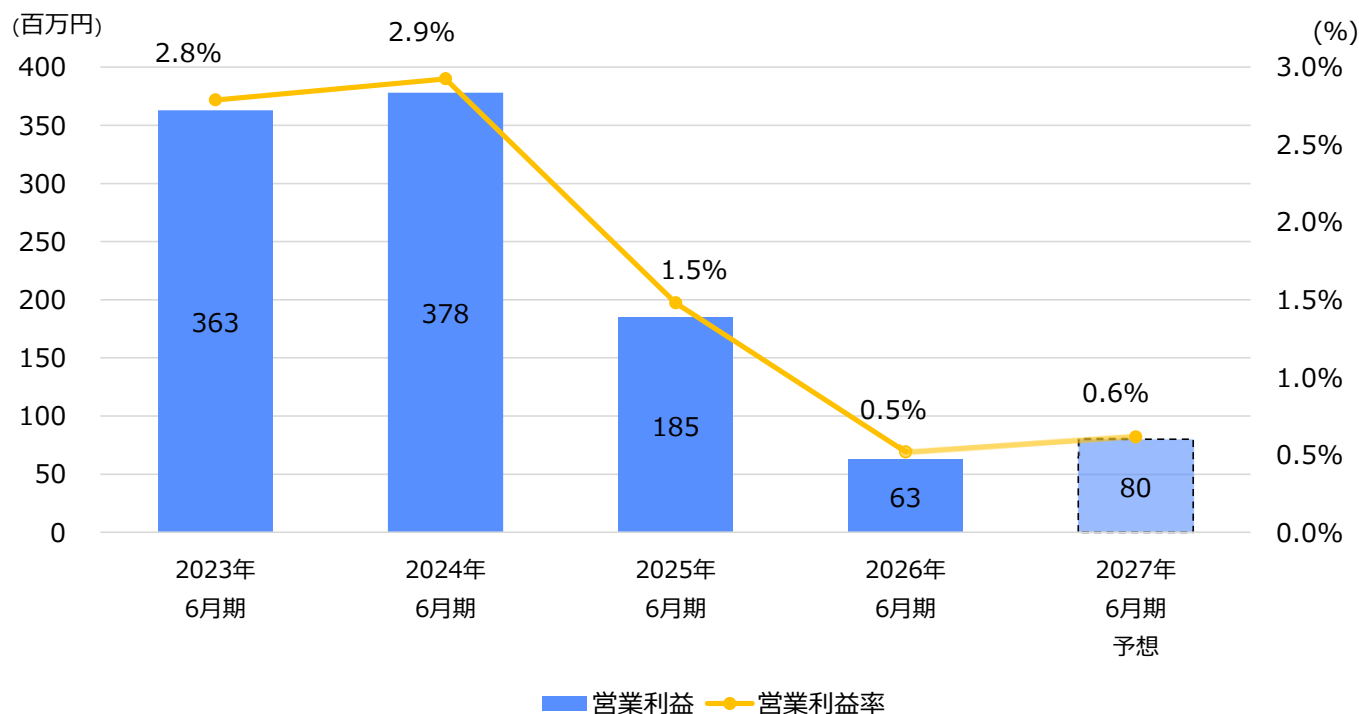
<コミュニケーション分野>

コア事業であるプリントメディアを基盤に、デジタルメディアの更なる強化によるクロスメディアの開発と販売を通じて、「顧客起点型」の高付加価値ソリューションを提供いたします。

2026年6月期 業績見通し 営業利益

SASATOKU

連結営業利益と営業利益率



賃上げに伴う人件費の上昇に加え、原材料費、動力費、外注費、物流費などの各種コストの高騰が収益を圧迫する中、当社は製造コストの上昇を反映した製品価格の適正化を継続してまいりましたが、物価高騰の継続と売価への転嫁にタイムラグがあったことから、収益性は低下しました。

2027年6月期通期業績見通し（業種別）

SASATOKU

業種	主要業界	今期の見通し (前期比)	備 考
モビリティ	自動車メーカー・部品メーカー・ 販売店・関連商品		小ロット・多品種生産への対応力を強化し、安定的な受注確保を目指す。また、各種イベント需要の取り込みと、フルフィルメントサービスの拡充を図る。
ライフ	食品、医薬品・化粧品、関連製品		事業エリアを拡大し、菓子・食品向けパッケージの取込みを強化し、設備の安定稼働と、関東地区におけるフルフィルメントサービス強化を図る。
カルチャー	出版・流通・教育、観光・文化、 関連製品		出版分野は厳しい市場環境が続くが、教育分野や成長が見込まれるカードゲーム関連の需要を取り込むとともに、デジタル施策の拡販を強化する。
リビング	生活用品、電器・機械・設備、 関連製品		電機・機械・設備関連ではプリントメディア、マニュアル、デジタル施策分野などの販売拡大を進め、生活用品はパッケージの受注強化を図る。

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 決算概要
- IV. 2027年6月期 業績見通し
- V. 株主還元
- VI. 参考資料

配当方針の変更（2026年8月7日開催の取締役会で決議）

<変更前>

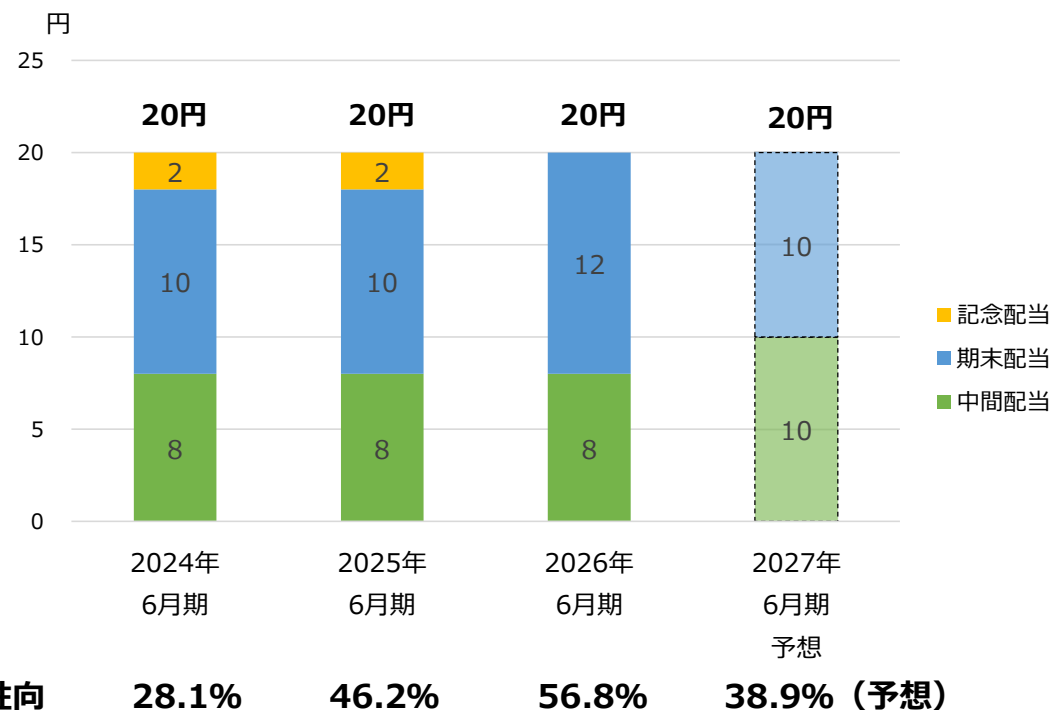
長期的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、成長投資と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を追求する。

<変更後>

長期的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、成長投資と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を追求する。

配当性向30%以上を目途に、中期経営計画（2026年7月～2030年6月）の各事業年度における1株当たりの下限配当を年間20円とし、安定的な配当を追求する。

配当方針	配当性向	配当金
安定配当	30%以上を目途	20円（下限） 2026年7月～2030年6月



自己株式取得について

SASATOKU

●自己株式の取得を行う理由

当社の株価水準を勘案し、資本効率の向上と持続的な成長を図るとともに、今後の経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行及び株主の皆様への一層の利益還元を目的として、自己株式の取得を行っております。

	取得終了	2026年2月12日決議
取得対象株式の種類	当社普通株式	当社普通株式
取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）を含む市場買付	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）を含む市場買付
取得株式の総数	199,500株 （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 3.63%）	200,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 3.64%）
株式の取得価額の総額	110,967,500円	140,000,000円（上限）
株式の取得期間	2025年2月13日～2026年2月12日	2026年2月13日～2027年2月12日まで
取得状況	—	50,200株取得（2026年6月30日現在）

当社は資本コストについて、外部機関の意見も参考にしつつ、一定の前提をおいて、定期的な把握を行っており、当社の資本コストは開示をしておりますが、2026年6月期は、資本コストを上回る資本収益性が確保されていることを確認しております。

しかしながら、PBRは1.0倍を下回る水準で推移しており、現状の水準を引き上げていくためには、中・長期的な視点で適時適切に成長投資を実施し、企業価値を高め、収益性に応じて適正な株主還元を行っていくための利益を、安定的に創出する取り組みが重要であると考えております。

当社は、引き続き、成長戦略を推進し、安定的な配当を継続的に実施するとともに、市場動向、株価動向を見ながら、機動的な資本政策を実施してまいります。

なお、当社は、創業140周年にあたる2030年を見据えた中期経営計画（2026年7月～2030年6月）を策定し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。詳細につきましては、2026年8月7日にリリースいたしました「2030年 中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照下さい。

- I. 会社概要
- II. 事業内容
- III. 2026年6月期 決算概要
- IV. 2027年6月期 業績見通し
- V. 成長戦略
- VI. 株主還元
- VII. 参考資料

創業から136年。その歩みは「常にチャレンジ」





Good Communication, Good Partner

笹徳印刷グループは、時代に即したコミュニケーションで
お客さまとマーケットをつなぎ、満足され、感動される品質で
信頼を築く良きパートナーであり続けます。

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包しております。その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予測に関する記述によって明示的または暗黙的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは、未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

＜お問い合わせ先＞

笹徳印刷株式会社 広報・I R

<https://www.sasatoku.co.jp/IR/>



SASATOKU PRINTING CO.,LTD